| 学校番号 | ４１６ |
|---|---|

# 令和５年度　芸術科（音楽）

| 教科 | 芸術 | 科目 | 音楽Ⅱ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「ＭＯＵＳＡ２」　（教育芸術社） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ

・「歌う」「楽器を演奏する」「音楽を作る」「音楽を聴く」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は授業で配布するワークシートや実技テストで評価します。
音楽の学習は、実際にクラスメートとやってみて試してこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽が、生涯を通じて、皆さんの心の支えとなり、生きてゆく力になることを、願っています。

## ２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音楽、音楽文化と幅広くかかわる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

⑴ 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
⑵ 自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
⑶ 主体的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

## ３　学習評価（評価規準と評価方法）

| 観点 | a：知識・技能 | b：思考・判断・表現 | c：主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 音楽表現をするために必要な歌唱、器楽の技能を身に付けている。楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 | 音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するかについて表現意図をもっている。 | 音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽　鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。 |
| 評価 | 観察<br>実技試験 | 観察<br>実技試験 | 観察<br>実技試験 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 方法 | ワークシート | ワークシート | ワークシート |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

４．学習の活動

| 学期 | 題材名 | 学習内容 | 題材の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1<br>学<br>期 | ハーモニーを味わおう | 歌唱<br>栄光の架橋<br>（3部合唱） | a：表現したいことを伝えるための歌唱の技術を身につけている。<br>b：旋律、リズム、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。<br>c:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 | 観察、ワークシート実技試験 | 観察、ワークシート実技試験 | 観察、ワークシート実技試験 |
| | ギターアンサンブルを楽しもう | 器楽<br>少年時代 | a：楽譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。<br>b：メロディの音程、リズム、和音の特徴を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、音楽作りについて、表現意図をもっている。<br>c:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 | 観察、ワークシート実技試験 | 観察、ワークシート実技試験 | 観察、ワークシート実技試験 |
| 2学期<br><br>3学期 | ギターアンサンブルを楽しもう | 器楽<br>グリーンスリーブス | a：楽譜を読み、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。<br>b：メロディの音程、リズム、和音の特徴を知覚し、その働きを感受し、それらを生かして表現を工夫している。<br>c:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 | 観察、ワークシート実技試験 | 観察、ワークシート実技試験 | 観察、ワークシート実技試験 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | グループアンサンブルを楽しもう | グループごとに自由な曲を選択<br>練習<br>発表 | a：楽譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。<br>b：音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、表現したい音楽をイメージしてどのように音楽を作るかについて表現意図をもっている。<br>c:様々な形態のアンサンブルに関心をもち、その持ち味をいかして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 | 観察、ワークシート<br>実技試験 | 観察、ワークシート<br>実技試験 | 観察、ワークシート<br>実技試験 |
| | 鑑賞をしよう | 鑑賞<br>JS バッハ<br>オーボエとヴァイオリンのための協奏曲<br>ハ短調<br>BWV1060<br><br>JS バッハ<br>マタイ受難曲<br>BWV244<br>より<br>合唱「われら涙流しつつひざまづき」第 2 部<br>68 曲 | a：音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。<br>c:1 年に引き続き、協奏曲に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。<br><br>a：音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。<br>c:今回初めて取り上げる合唱曲に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 | 観察<br>ワークシート | | 観察<br>ワークシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　　b: 思考・判断・表現
c:主体的に学習に取り組む態度

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野はａ,ｂ,ｃの３観点で、「鑑賞」の分野はａ,ｃの２観点で評価をする。

※　年間を通じて全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について記している。